

県北ミニバスケットボール連盟

ミニバスケットボール競技規則 「改訂 NO.1」

1. 競技規則

(公財)日本バスケットボール協会が発行する現行の以下の規則による。

- ミニバスケットボール競技規則 (改訂版)
- バスケットボール競技規則 (2015～版)
- オフィシャルズ・マニュアル (2013～版)

2. 試合球

2-1. 検定球5号人工皮革製とする。

2-2. 予選等については、

2-3-1. 両チームよりボールを持ち寄り主審がボールを選ぶ。

2-3-2. 残されたボールは、予備試合球とし、テーブルズ・オフィシャルに預ける。

2-4. 決勝日(最終日)の決勝トーナメント又は決勝リーグ戦では、県北ミニバス連盟が準備するボールを使用する。

3. エントリー (大会参加の申し込み、コーチ、選手登録等参加資格) について

3-1. 連盟主催の大会への参加については、チームの責任において参加すること。

3-2. 必ず、各選手の保護者の承諾を得ること。

3-3. 年度において、茨城県 県北地区ミニバスケットボール連盟に登録済みのチームとする。

3-4. 年度において、日本バスケットボール協会へのチーム・個人登録済みであること。

3-5. 年度において、スポーツ少年団のチーム・選手(団員)登録済みであること。

3-6. 年度において、スポーツ安全協会保険に指導者、選手ともに加入済みのチームとする。

3-7. JBA 公認指導者 (E-2 級以上) が自チームにおり、1 名以上登録 (ベンチに入る) できるチームであること。但し、自チームに JBA 公認指導者がいない場合は、JBA 公認コーチ養成講習会 申込 (写)、及び参加料振込領収書 (写) を、変更届に添付して、初戦当日第 1 試合までに会場本部責任者又は競技委員長へ提出し、承諾を得る。

3-8. コーチ、A コーチ①、A コーチ②、マネージャーの計 4 名以内を登録すること。

但し、マネージャーに小学生を登録できる。

3-9. 参加確認、コーチ、A コーチ①、A コーチ②、マネージャー、選手登録については、連盟指定の方法により、連盟の指定する期日までに行うこととする。

3-10. 大会当日、JBA 公認コーチについては、試合開始前に ID 提示出来る様に必ず携帯すること。

4. エントリー変更について

- エントリーの変更は原則認めない。

ただし、以下の条件に該当する場合には、登録済み選手と登録外選手との入れ替えは可能とする。

①怪我ややむを得ない事情により大会に参加できない場合。

②インフルエンザにより大会参加できない場合。

※インフルエンザへの対応については、茨城県ミニバスケットボール連盟が平成21年11月1日に発行の「新型インフルエンザ流行に伴う対策について」に準ずる。

③インフルエンザ対応として、大会日毎にエントリー変更を認める。

但し、登録済み選手、登録外選手は、連盟登録選手(*)であることとする。

(*) 県北連盟、茨城県ミニバス連盟、日本バスケットボール選手登録済みであることを示す。

また、選手、コーチ等はスポーツ安全協会傷害保険に加入済みであること。

- エントリー変更は、大会日当日の代表者会議にて、変更の申し出をすること。また、代表者会議終了後、各会場に置ける第一試合が開始される前までに、会場本部責任者又は県北ミニバス連盟理事以上の役員に「県北ミニバス連盟主催大会エントリー変更届(H21 県北選手権から適用)」を提出し、変更確認のサインを得ることとする。

- 第一試合開始以降のエントリー変更届は一切認めないこととする。

上記①～③の条件以外の選手、指導者の変更については、大会を通じて行うこととし、

一度変更した選手及び指導者を再変更することは出来ない。

登録選手間での背番号の変更は認めない。

5. メンバー表の提出について

公式スコアシートは、県北ミニバス連盟競技委員会が用意したシートを使用する。

(公式スコアシートは、茨城県ミニバスケットボール連盟公認スコアシートを使用する)

メンバー表は、各チーム1試合につき2枚用意すること。

1枚目：自チームが行う試合の前試合のハーフタイムまでに公式スコアシートに貼り付けること。

公式スコアシートに貼り付ける際には、罫線にできるだけ合わせて貼り付けること。

公式スコアシートに貼り付けるメンバー表の「コーチ欄は空欄にしておくこと」

2枚目：試合開始前3分前までに、対戦チームに渡すこと。(対戦チームと交換する)

6. 公式戦ユニフォームについて

公式大会のユニフォームは、淡色と濃色の2種類を用意すること。(淡色は白色が望ましい)

アンダーガーマントは着用するプレイヤーと着用しないプレイヤーがいても差し支えないが、

アンダーガーマントを着用する場合にはユニフォームと同系色とすること。(テーピングについても同様)

ソックス様・ストッキング様な下腿部のサポーターやソックス様・ストッキング様ではなくても

大腿部のサポーターの着用については、パンツと同様の色のものであれば認められる。

(競技規則第4条)

7. 試合に置けるベンチについて

試合時の各チームのベンチは、組み合わせ表の番号の若いチーム若しくは左側のチームが、オフィシャル席に向かって右側のベンチであり、ユニフォームは淡色（白色）着用を原則とする。

8. ベンチは、コーチ1名、Aコーチ2名、マネージャー1名、登録選手15名の合計19名以内とする。
（4. エントリーの項による）

9. コーチはチームの指揮者であり、実際にゲームを指揮するものとする。

ゲーム中、コーチはベンチからプレイヤーに助言をあたえ、交代の規定に従ってプレイヤーを交代させることができる。また、タイム・アウトを請求することができる。（第14条）

10. チーム指導者（コーチ）本人は、試合開始3分前から1分前までに、スコアーシートの
コーチ欄にサインをする。

サインをしたチーム指導者（コーチ）には、そのゲームの指揮権を認め、コーチIDカードを貸与する。

- ・「コーチIDカード」を持ったチーム指導者（コーチ）のみ、ゲーム中にベンチから立ってプレイヤーに指示を与えてもよいが、移動できる範囲は自チームのベンチ前だけである。

また、Aコーチ（アシスタントコーチ）は、ゲーム中、審判に対して話しかけたり、そのほかいかなるはたらきかけもしてはならない。（第7条）

- ・Aコーチ（コーチIDカードを持たない指導者）は、ゲーム中、チーム・ベンチからのみ、プレイヤーに話しかけたり、指示を与えたりしてよいが、ベンチから立ってプレイヤーに指示することは認められない。（コーチIDカードを持った指導者のみ）

11. 第1クォーターに出場するメンバーは、ゲーム開始1分前になったら直ちに出場の確認を行うものとする。

また、第2・第4クォーター出場するメンバーは、前クォーター終了直後のオフィシャルに登録するものとする。登録後は速やかに試合が開始できるように準備する。

- 1・3クォーター：試合開始1分前になったら、チームA（淡色）が先に登録し、次にチームB（濃色）が登録する。

- 2・4クォーター：前クォーター終了後、チームA（淡色）が先に登録し、次にチームB（濃色）が登録する。

※4クォーター登録時の「3クォーターと同じです」は認めない。

12. ゲームエントリーは10名以上15名以内とし、第3クォーターまでに10名を出場させなければ
ならない。また、クォーターの途中で退場した者及び途中から出場した者は、そのクォーターに
出場したものとみなす。※但し、第1・第2・第3クォーターへ連続出場することはできない。（第23条）

12-1. フレンドリー大会規定（県北ミニバス連盟 特別ルール）

- 12-1-1. フレンドリーの部は10人未満でも勝ち上がりは有りとする。

- 12-1-2. 5人のチームは、全員フル出場。6人の時は2人が4Q出場、4人が1Q休むこと。

- 12-1-3. 7～9人時は全員2Q出場1Q休むこと。

13. クォーター・タイムおよびタイム・アウトは、1分間を厳守すること。

ゲーム開始の合図があった後も意図的に選手をベンチに留めて指示をすることは遅延行為とみなし、コーチへのテクニカル・ファウルとして厳しく処罰する。

14. タイム・アウトは、以下の通りとする。

14-1. 1チームは各ハーフに1回ずつ1分間のタイム・アウトをとることができる。

14-2. 延長を行う場合には、各延長時限に両チームに1回ずつのタイム・アウトが認められる。

14-3. タイム・アウトは指揮権を認められたコーチのみが、あらかじめオフィシャル・テーブルのスコアラーに申し出ておき、ファウル、ヴァイオレイション、ヘルド・ボールが起こった時か、その他の理由で審判が笛を鳴らして時計を止めた時か、相手チームのフィールド・ゴールが成功した時に認められる。

15. 後半を終わったとき両チームの得点と同じ場合は、トーナメント戦およびリーグ戦に関わらず延長戦を行う。

15-1. 延長戦は1回3分間の延長時限を必要な回数だけ行う。

15-2. 各延長時限では後半と同じバスケットを攻撃する。また、各延長時限の前に2分間、時間をおく。

15-3. タイム・アウトは、各延長時限に両チームに1回ずつのタイム・アウトが認められる。

16. リーグ戦の順位は、勝ち点(ポイント)によって決定する。【勝ち=2点、負け=1点、没収=0点】

それでも順位が決まらない場合は以下のように順位決定していく。

①2チームが同じ勝ち点の時には、両チームの対戦で勝ったチームが上位とする。

②3チームが同じ勝ち点の時には、同じ勝ち点のチーム間での勝ち点で順位を決定する。

③それでも同じ勝ち点の時には、当該チーム(同じ勝ち点同士)間のゲームにおけるゴール・アベレージ(総得点÷総失点)の高いチームを上位とする。

④それでもなお同率の時には、そのグループでの当該チームの全てのゴール・アベレージによって決定する。

⑤それでも3チームの同率チームが残った時は、総得点の多いチームを上位とする。

上記の方法を行った結果、複数の同率チームが2チームに減ったときには①の方法を適用して順位を決定する。

※延長戦を行った時には、延長戦の得点・失点も入れて、ゴール・アベレージを算出する。

※人数が揃わないなどの没収試合の場合は、20-0とする。

※当初より勝ち上がり権利の無いチームを含むリーグについては、その対戦結果は含まずに順位を決定する。詳細については、日本バスケットボール協会バスケットボール競技規則による。

17. オフィシャルは、割当表によるものとする。

17-1. それに依らない場合は、第1試合については第3試合の両チームが行う。(前半は組み合わせ表の左または、番号の若いチーム。後半は右に掲載されているチームとする)

17-2. 第2試合以降は前試合の負けチームが行う。

17-3. オフィシャルを行うチームの指導者は、必ず1名オフィシャル席に入りTO主任となる。

18. 各チームは審判を帯同すること。その際、審判員は審判ウェアおよびワッペンを着用すること。

18-1. 自チームの帯同審判員が大会当該日に帯同できない場合には、大会前日までに競技委員長もしくは、審判委員長に連絡をし、指示を受けること。

19. コートの周囲が狭くスロー・インするプレイヤーが自由にスロー・インできない場合は、コート内の両チームのプレイヤーをスロー・インするプレイヤーから1mは、離させる。

19-1. 大会当日の代表者会議に置いて、会場本部副責任者(兼審判責任者)が確認を求めること。

19-2. 審判はゲームを始める前に両チームに注意を与えておくこと。(第40条から抜粋)

20. ゲームについては審判が、また、ゲーム運営上の問題については各会場本部責任者(連盟理事以上の役員)が対処し、最終的には大会本部(連盟会長)が統轄する。

県北ミニバスケットボール連盟

制定 平成21年 5月16日

会長 長谷川幸生 理事長 渡辺光 総務委員長 吉田尚史

競技委員長 梶山孝雄 審判委員長 山中幹子 TO委員長 内田俊一

改訂履歴

改訂：平成29年10月21日

「改訂NO.1」

承認：会長 佐川秀次

審査：理事長 佐藤博之 副理事長 梶山孝雄 田村耕司

作成：競技委員長 河野瑞 審判委員長 三本木篤史 TO委員長 大野卓美

コミッショナー委員長 根本淳史 総務委員長 荷見和美 広報委員長 田村耕司

会計長 鈴木治子

参加チームの心得

1. 会場準備および片付けは、指導者も含め全参加チームで取り組むこと。
2. 自チームの試合が終わっても先に帰ってしまうようなことのないこと。
3. 本部席（ステージ上）には、連盟役員と依頼審判等の協力者およびチーム登録の指導者のみとする。
それ以外の者は、二階応援席から観戦すること。
4. ゲーム中は、コートサイドには入れない。
従ってハーフタイム時には、次のゲームのチーム練習はコート上でできない。
5. ベンチ内には、鳴物を持ち込まないこと。
また、ベンチ内でのビデオ・写真撮影・携帯電話等の使用は行わないこと。
6. ゲーム中の水分補給は、コート外で飲むようにして、フロアーを濡らさないように注意すること。
7. 水入りバケツのベンチ持ち込みは禁止する。
8. ゲーム終了後は、速やかにベンチを空けること。
9. チーム応援の際、野次や罵倒になるような行為はやめましょう。
楽しくさわやかな応援と、大会と選手を盛り上げてください。
※茨城県バスケットボール協会 指導者育成委員会が掲載する
「指導者・保護者・プレイヤー・観客のためのバスケットボール10カ条」に準ずる。
10. 体育館の使用については、会場の体育館使用規定を守ること。特に上履きと下履きの区別を励行すること。
11. 駐車場は、他施設・地域住民の方々に迷惑のかからないように、ルール、マナーを守ること。
12. 会場内のコンセントの個人使用は厳禁とする。
(電気ポット、炊飯器、こたつ、ビデオカメラ・携帯等のバッテリーの充電等すべて不可)
13. 駐車・施設使用・観戦等のマナーについては、各チームで向上させるように努めて下さい。

以上